

特定非営利活動法人 奈良県防災士会

令和6年度 第3回 理事会 議事録

1. 日 時 令和6年10月13日（日） 午前10時00分から11時25分

2. 場 所 三宅町あざさ苑

3. 出席者数 理事総数18名のうち出席者数12名
監事総数3名のうち出席者数1名

4. 報告事項

- 報第1号 県人材育成の協定について
- 報第2号 県自主防災アドバイザーについて
- 報第3号 能登半島支援について
- 報第4号 頒布品について
- 報第5号 その他報告事項

5. 協議事項

- 議第1号 研修会の実施について
- 議第2号 当面の日程について
- 議第3号 その他協議事項

6. その他

7. 議事の経過の概要及び議決の結果

(1) 開会

理事八木沢潔氏が開会を宣言した。

司会者である八木沢理事から本会が定款第36条に基づき成立している旨の報告がなされた。

(2) 定款第35条により理事長が議長を務める。

(3) 議事録署名人の選出及び書記記録人の指名

議長より議事録署名人選出に関する事項を諮ったところ、「議長一任」の声があったので、議事録署名人に石川理事・板垣理事を選出することに決定した。

なお、本理事会記録者に八木沢理事を指名した。

(4) 議事審議

議長が議事の審議開始を宣言した。

一. 報告事項

報第1号は、末田理事長から以下のとおり報告された。

「県人材育成の協定について」はまだ案の状態です。県でリーダー研修を受けてかなりの数の防災士が誕生しているが、活動してもらっている人の姿が見えてこないという県の悩みがある。これまで手をつけてこなかったが、動ける人の人材育成をしていきたいとの案が挙がっている。奈良県防災士会も一緒に考えていく事としました。具体的には県の支援事業で防災士会から講師派遣に行った際に見学にくるなどスキルアップの場を提供、またスキルアップ研修等の案が挙がっている。応援要請が来た際には、奈良県防災士会として相談や対応をしていきます。

報第2号は、末田理事長から以下のとおり報告された。

「県自主防災アドバイザー」は今まで安全・安心まちづくりアドバイザーとして安全・安心まちづくり推進課が行ってきたが、現在防災統括室と県民暮らし課で防災と防犯が分かれている状態で、防犯の方はHPに掲載されています。防災の方はweb等の準備が整っていない状態であるが、自主防災アドバイザーとして活動は行われています。部署が分かれて人数が減っている部分と、防災士会でも対応が難しいアドバイザーもおり、アドバイザーの数を増やすのに協力して頂きたいとの要請があり、県より推薦をお願いされています。今回防災士会よりアドバイザーとして、2名分の推薦状を出します。

報第3号は、植村相談役から以下のとおり報告された。

板垣理事より支援金の報告として、秋田・山形・新潟豪雨災害の支援金を募集したところ、2万8千円が集まっています。3名の方から入金がありましたので報告します。現在能登半島支援の募金を受け付けしています。植村相談役より村山参与と支援に行かれた10月7日(月)8日(火)珠洲市での活動報告があった。現場で頑張っている石川県支部への寄付と支援金を送付する案、及び今後の支援活動については協議事項で協議する事としました。

報第4号は末田理事長より以下のとおり報告された。

頒布品のビブスですが、1着2500円弱の製作費となっています。頒布方法や金額設定については事務局で調整、協議します。

報第5号は以下の通り報告があった。

本部に関し植村相談役より、9月末に開かれた本部理事会において、室崎理事長が退任される事となり、現在の副理事長は辞任する事となりました。新執行部として

植村相談役が来年6月までの期間限定で本部理事長代行を引き受ける事になりました。

ダイバーシティ防災推進委員会に関しては石川理事より報告された。

10月19日(土)20日(日)に行われる防災国体2024は熊本県で開催されオンラインセッションで配信します。テーマは「災害関連死ゼロを目指して ダイバーシティの視点から」です。室崎理事長の基調講演もありますので視聴をよろしくお願ひします。

奈良県防災プラットフォームに関しては板垣理事より報告された。

9月17日と10月8日にZoom会議がありました。プラットフォームが現在27団体あるが、さらに他の団体や企業と連携すべくアンケート実施中である。

12月14日(土)東大寺文化センターで、奈良県防災プラットフォーム主催のフォーラムが開催され、JVOAD 事務局長の明城徹也氏の基調講演があります。その後のトークセッションでは、奈良県防災士会より植村相談役も参加予定。詳しくはホームページの「お知らせ」で会員に告知を行います。

以上、報第1号から報第5号議案について全員異議なしとし承認された。

二. 協議事項

議第1号 研修会の実施について

定例研修会として例年1月と7月に奈良県防災士会で研修会を行っていた。ただ現状は講師派遣の依頼が多すぎて、なかなか実現できていない。日程として来年に開催したいと考えている。趣旨としては防災士のスキルアップと能登半島の現状報告となる予定。植村相談役からは石川県支部の大月さんを招いて、発災した時の防災士としてどう行動したかを聞いてはどうかとの意見があった。開催日候補としては2月15日、16日、24日で調整を行う。

議第2号 当面の日程について

八木沢理事より当面の日程資料の説明があり、修正及び追加等が行われ可決承認がなされた。

議第3号 その他協議事項

末田会長より奈良県防災士会として、石川県支部へ10万円の支援金送付の提案がなされ、全員異議なしとして可決承認がなされた。石川県への災害支援については災害担当の方で調整する事が報告された。

来年の理事会と広報誌発行日程についての提案があり、来年1月11日(土)の午後開催とする案に対し承認がなされた。

次回理事会の日程について協議の結果下記のとおり決定した。

次回理事会は、通常理事会とする。

日 時 令和6年12月21日（土）9時～

会 場 三宅町あざさ苑

以上をもって、議長から理事会の議事が終了した旨が述べられ、閉会が宣言された。

以上、この議事録が正確であることを証します。

令和6年 月 日

議 長 ⑩

議事録署名人 ⑩

議事録署名人 ⑩